

日本発ウィーン便り：ウィーンで見かけた…。

◆ウィーンの屋根

いつも泊るホテルが改装されて、一つ階が増えました。今回は一番上の階の部屋に泊りました。なんと素敵なことに、窓を開けるとベッドに寝ながら空が見えるんです。☺星が見えるかなと期待しましたが、残念ながら今回はずーっと曇で太陽も星も見えませんでした。



窓からの風景は、まさにウィーンの屋根でした。(煙突がたくさん！)



青いドームが見えるのは、近くの Peterkirche (ペーター教会) ↓です。



◆交通標識



王宮近くで馬印の標識発見。王宮内のスペイン乗馬学校の所です。リピッツァー種の馬の通り道？



スペイン乗馬学校をのぞいてみると、



いました！ウィーンのアイドル、リピッツァー種の馬です。この馬は、ハプスブルク王朝が特に好んだ白馬を追求するために交配された馬で、ウィーンの古典馬術のために育てて訓練される馬なのだそうですよ。400年以上の歴史がある乗馬芸術は（リピッツァー馬のバレエと表現されます）世界で唯一、このウィーンのスペイン乗馬学校で見学できます！（まだ行ったことないですが、一度行ってみたいと思います。）

◆Radler（ラードラー）



やっぱりありました。Johannisbeeren（ヨハニスベレーン：黒スグリ）のRadler。なかなか美味しいです。

日本発ウィーン便り ~ウィーンで見かけた…。~ von Eriko T. am 04/01/12

◆Winterdienst (ヴィンターディーンスト：冬季作業車両)



冬が寒くて雪もよく積もるウィーンでは、氷や雪の除去作業が大事です。まだ雪は降っていませんでしたが、除雪車発見。きっとこの冬も大活躍でしょう。

◆Steckpferd (シュテック・プフェアド：日本語ではなんていうかな？棒馬？)



クリスマス市で、あまりにも可愛いので、つい写真に撮ってしまいました。要は棒の先に馬（や他の動物）の頭がついていて、子供がそれにまたがって遊ぶおもちゃなのですが、表情がとっても素敵です。

◆Albertina (アルベルティーナ美術館)



王宮近くの美術館、Albertinaにて。ポスターの絵をよく見て、そのあと階段を見てください。美術館への入り口の階段が Monet の絵になっているのです。旧ハプスブルク家の邸宅を改装したこの美術館は、建物自体はもちろん、世界最高と言われる版画素描コレクションもあって、素晴らしいですよ。

◆De-icing と Anti-icing (除氷と氷結防止)

ウィーンからの出発の日。バスで空港に向かう途中、ちらほら雪が降ってきました。

それが出発の頃にはもううっすら積もっています。

飛行機の翼の上に雪が積もると離陸ができないようなので、出発前に De-icing と Anti-icing の作業が行われます。(今回翼近くの窓側の席だったので、じっくり見られました。☺)



こんな特殊車両で、まず翼の除雪、氷を溶かして、オレンジ色の凍結防止剤を撒きます。



そのあとは、また、こんなハシゴ車がやってきて、お立ち台の上に係の人が登って点検します。(熱心に外をのぞいていたら、窓にも凍結防止剤をぶっつけられてビックリしました)これを2セット。なんで、冬はここで飛行機が渋滞して飛行機の離陸が遅れてしまうのです。仕方ないですね。

◆おまけ



Karlskirche (カールス教会) 前のクリスマス市はいつも藁が敷き詰められていて、ポニーに乗ったり豚やヤギやロバがいたり。その藁に埋もれながら散歩中の楽しそうな飼い主さんと子犬。

美味しいウィーンはまた別の機会に！